

【情報公開文書】

1. はじめに

京都大学大学院医学研究科 免疫細胞生物学 教授 上野英樹を研究責任者とし、肺・肝臓・皮膚・脳を含む各臓器の組織特異的免疫機構を研究することにより、研究対象疾患の新たな治療につながるような免疫現象の解明を目指し研究を行っています。本研究は京都大学医の倫理委員会にて審査され京都大学医学部附属病院長に承認されたものです。

2. 研究課題名

ヒト臓器における組織特異的免疫機構解明

3. 研究の目的

本研究では、肺・肝臓・皮膚・脳を含む各臓器の組織特異的な免疫現象を解明し、各領域の疾患の新たな治療へとつながる知見を得ることを目的としています。

4. 研究期間

研究機関の長の許可日から 2030 年 3 月 31 日までの研究が承認されています。将来的に研究の延長を申請することを予定しています。

5. 利用または提供を開始する予定日

当院の研究実施許可日

6. 利用または提供する試料・情報の項目

本研究にて新しく募集する検体やその情報以外に、これまで既に得られている下記の試料や情報を用いて研究を行います。

(試料) 研究計画「病理組織材料の診療目的外使用」(第 603 号)「生体試料の保管と将来の研究利用についての説明文書」(1056 号、R0097 号)「炎症組織浸潤リンパ球の解析」(第 R433 号)「炎症性疾患の迅速診断と病態解明を目的としたバイオマーカー探索研究」(第 R0729 号)「アレルギー病態の分子機構解明」(第 G1212 号)にて採取された生体試料

(情報) 研究に使用する生体試料に関する性別、疾患名、年齢、診療情報

2012 年 3 月から 2030 年 3 月の間に、京都大学医学部附属病院において irAE 肝障害、自己免疫性肝炎、原発性胆汁性胆管炎(旧称: 原発性胆汁性肝硬変) 原発性硬化性胆管炎、HBV 感染症、NASH、アルコール性肝炎、胆道閉鎖症、特発性門脈圧亢進症、バッドキアリ症候群、肝細胞癌、肝内胆管癌、転移性肝がん、肝芽腫など肝胆道系疾患にて採血や病理検査を受けた方、京都大学医学部附属病院にて末梢血や臍帯血を提供された方。

自己免疫性肝炎、原発性胆汁性胆管炎（旧称：原発性胆汁性肝硬変）、原発性硬化性胆管炎、NASH、アルコール性肝炎、胆道閉鎖症

7. 試料・情報の利用目的・利用方法

生体試料における免疫反応に関連する因子を、遺伝子解析、免疫染色やRNA定量、フローサイトメトリーにて解析する。共同研究機関へ試料を提供する場合は研究対象者の個人情報削除し仮名化された状態で提供する。

8. 研究機関の名称・研究責任者の氏名

【代表研究機関】

京都大学大学院医学研究科免疫細胞生物学：教授 上野 英樹

【共同研究機関】

神戸大学医学研究科消化器内科学 特命教授 上田 佳秀

国立がん研究センター先端医療開発センター 免疫療法開発分野 分野長 中面 哲也

帝京大学医学部薬理学講座 助教 鈴木 利宙

大阪大学 微生物病研究所 分子免疫制御分野 教授 山崎 晶

住友ファーマ株式会社 研究企画推進部; がん創薬研究ユニット 矢吹 仁人

九州大学消化器・総合外科 教授 吉住 朋晴

千葉大学 大学院医学研究院 先端研究部門 高次機能治療学研究講座 免疫発生学
教授 平原 潔

公益財団法人実中研 研究部門 部門長 末水 洋志

9. 試料・情報の管理について責任を有するものの氏名

京都大学大学院医学研究科 免疫細胞生物学 教授 上野英樹

10. 研究資金・利益相反

本研究は、公的研究費である日本医療研究開発機構研究費および住友ファーマ製薬株式会社との共同研究費により実施します。利益相反については「京都大学利益相反ポリシー」「京都大学利益相反マネジメント規程」に従い、「京都大学臨床研究利益相反審査委員会」において適切に審査しています。

11. 連絡先

本研究に関する資料の閲覧（個人情報ならびに知的財産の保護等に支障がない範囲になります）を希望される方、研究への利用の中止や外部への提供の停止またはその他の相談を希望される研究対象者の方は、下記連絡先までご連絡ください。

京都大学大学院医学研究科 免疫細胞生物学・教授 上野英樹
電話 075-753-4435

京都大学医学部附属病院 臨床研究相談窓口
電話 075-751-4748、E-mail ctsodan@kuhp.kyoto-u.ac.jp